

# 令和6年度 学校自己評価システムシート (県立志木高等学校)

目指す学校像	志木高スピリット(立志・言志・統志)の下、高い志を持ち、自分の夢を実現できる学校
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>学習習慣の確立と授業改善により、主体的な学びを推進し、学力を向上させる。</li> <li>志木高スピリットを醸成させ、夢の実現に向けたセルフマネジメント力を身につけさせる。</li> <li>安心・安全な学校生活を保障し、学校生活に誇りと自信を持たせる。</li> <li>地域とともに歩む、魅力ある高校づくりを推進する。</li> </ol>
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学 校 自 己 評 価						学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標				年 度 評 価 ( 月 日 現 在 )		実 施 日 令 和 年 月 日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	
1	<p>【現状】                      ○生徒の授業への満足度が高いが、学習習慣の確立や学力の定着には繋がっていない。                      ○1人1台端末 (chromebook) の活用方法の改善や情報モラルの醸成に向けた取組を検討していく必要がある。</p> <p>【課題】                      ○授業の質をさらに向上させるとともに、学習習慣の定着に向けた取組を充実させる。                      ○生徒のICTリテラシーやメディアリテラシーを向上させる。                      ○教職員のICTスキルの上に向けた取組やサポート体制を充実させる。</p>	学習習慣の確立と学力の定着	<ol style="list-style-type: none"> <li>1人1台端末を効果的に活用するための実践事例の研究を進める。</li> <li>生徒対象のアンケート結果に基づき、生徒の学習習慣を分析する。</li> <li>家庭の学習コンテンツを活用しながら隙間時間を有効活用させる。</li> <li>長期休業中に向けた学習計画の立案や学習の振り返りに取り組む。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>効果的に活用するための実践事例をまとめられたか。</li> <li>アンケート結果と分析から次年度に向けた課題を明確にできたか。</li> <li>家庭学習時間が増えたか。</li> <li>学習計画の立案や学習の振り返りに取り組むことができたか。</li> </ol>				
		ICTスキルの上と情報教育の充実	<ol style="list-style-type: none"> <li>ICT支援員と連携し、ICTスキル向上に向けた研修会を実施する。</li> <li>学習環境の整備を通して、主体的な学びを支援する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>計画的にICTスキル向上に向けた研修会を実施できたか。</li> <li>校内の学習環境を向上させることができたか。</li> </ol>				
2	<p>【現状】                      ○四年制大学、短期大学、専門学校、就職と生徒の進路実現は多岐に渡っている。                      ○新教育課程に変わって最初の3年目となる。</p> <p>【課題】                      ○進路決定への動き出しが遅い生徒への支援をきめ細かく行う必要がある。                      ○進路実現に向けて積極的にチャレンジができるよう指導体制の整備が必要である。</p>	生徒の特性に応じた進路の実現	<ol style="list-style-type: none"> <li>進路分野別に専門チームを編成し、進路実現のための指導体制を整備する。</li> <li>教員向け大学説明会等を実施し、受験に対する最新情報を共有する。</li> <li>進路希望書の資料や参考書等を最新の状況に整備する。</li> <li>「Classi」を有効活用するための取組を企画する。</li> <li>様々な学習コンテンツの比較、検討に取り組む。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>進路実現のための指導体制を整備することができたか。</li> <li>多様な大学入試制度を理解し、生徒への指導に還元することができたか。</li> <li>進路希望書の資料や参考書等を最新の状況に整備できたか。</li> <li>「Classi」の活用アンケート結果状況や他の学習コンテンツの活用について、検討・立案できたか。</li> </ol>				
3	<p>【現状】                      ○学校生活に馴染めない生徒や対人関係を築けない生徒が増えており、進路変更につながる現状がある。                      ○生徒の人間関係が複雑化してきており、多様な生徒に対して、状況に応じた指導・支援が求められている。</p> <p>【課題】                      ○学校生活における一斉的、画一的な指導により個に応じた指導が定着していない。                      ○生徒指導と教育相談が一体となったチーム支援が必要である。</p>	個に応じた指導の定着	<ol style="list-style-type: none"> <li>教職員が連携し、いじめを未然に防止する。</li> <li>研修等を通して、全教職員に正しい知識を身につけさせる。</li> <li>スクールカウンセラー等を活用し、早期の心のケアを実施する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>生徒情報を職員内で共有し、いじめを未然に防止することができたか。</li> <li>研修を実施し、理解を深めることができたか。</li> <li>早期な対応により効果的な取組ができたか。</li> </ol>				
		生徒指導と教育相談が一体となった体制の整備	<ol style="list-style-type: none"> <li>多様な生徒に対応するため、学校内での教育相談体制を構築する。</li> <li>心身の健康問題や発達特性、家庭環境等、様々な視点で生徒を捉え、包括的な生徒支援を行う。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>教育相談に係る事業を組織的に対応できたか。</li> <li>学校全体で包括的な生徒支援を行うことができたか。</li> </ol>				
4	<p>【現状】                      ○さくら連絡網を活用し、家庭への連絡や情報提供が行き届くようになった。                      ○学校説明会や中学校向け説明会は年々充実してきており、生徒募集につながっている。</p> <p>【課題】                      ○仕事の比重の偏りに関しては、仕事内容を細分化し分配することが必要である。                      ○学校の一体感、ベクトル合わせに着手し、教職員が思いを共有して取り組んでいく必要がある。</p>	地域に信頼される学校づくり	<ol style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果を分析し、ニーズの高い企画を計画する。</li> <li>各種メディア等の活用を検討しながら、効果的に教育活動を配信する。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>中学生やその保護者が満足できるような企画を計画することができたか。</li> <li>情報提供を広く周知し、本校の知名度を高められたか。</li> </ol>				
		学校全体で本校の魅力を発信	<ol style="list-style-type: none"> <li>ホームページの更新を進め、情報発信を積極的に行う。</li> <li>さくら連絡網の機能を最大限に活用できるように工夫する。</li> <li>生徒ボランティアを募り、学校説明会に参加させる。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>ホームページの更新を進め、情報発信を積極的に行うことができたか。</li> <li>さくら連絡網の機能を最大限に活用した企画が実施できたか。</li> <li>生徒ボランティアを活用した取組ができたか。</li> </ol>				

学校関係者評価	実施日 令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	